



2024 年 D1Grand Prix Rd.7&8 AUTOPOLIS 参戦報告書



SHIBATA
RACING TEAM

採点資料

D1 独自の機会採点システム DOSS が採点の基準

発足初年度から審判員による主観採点を採用してきた D1 グランプリシリーズだったが、より公平で公正な採点方法を求めて機械採点システムの開発を進めていた。

そして長い開発期間と試験期間を経て 2013 年からシリーズ戦へと導入されたのが、D1 独自の機械採点システムである『D1 オリジナルスコアリングシステム (通称 :DOSS= ドス』だ。DOSS では、走行マシンの車速や角度、そして角度の安定性や振り返りの鋭さなどを数値化して得点化。わずかな車速変化や角度の乱れが特典に影響することもあり、これまでよりも繊細かつスムーズなドライビングが要求されるようになった。そして、DOSS の得点化プログラムは最適化されつつ年々進化していき、2019 年からは追走にも導入されることとなった。先行車は単走とおなじようにハイレベルな走りが要求され、後追いもただ接近すればいいだけではなく、DOSS の得点が出せる走りが要求される。追走でも DOSS が導入され、ここがさらに洗練されていくことで、D1 グランプリシリーズは新たなステージへと進化する。

単走 指定ゾーンの追加で視覚的に走りの良し悪しが判別可能に

単走での採点は、競技区間を振り出しや旋回、振替しといった 4~5 つのセクターに分割し、それぞれの重要度によって第 1 セクターは 30%、第 2 セクターは 20% というようには配分が決定され、すべてのセクターの合計が特典となる。

また、2018 年からはコース内であればどのようなラインを通過しても原点されることはなかったが、2019 年からはコース上に数ヵ所の指定ゾーンが設けられ、ここを通過しなければいけなくなった。

つまり、理想的なラインを通過することが高得点を出すことにつながるのはこれまで通りなものの、指定ゾーンを追加することで視覚的にも良し悪しがわかりやすくなった。なお、指定ゾーンを通過できなかった場合の原点はマイナス 1 点 ~3 点。ほかにも、振り出し時の 2 度降りやドリフトアンダーはマイナス 5 点、コース外走行は 1 輪 ~ 2 輪の場合はマイナス 2 点で、3 輪 ~ 4 輪の場合はマイナス 5 点という原点。J1 ~ J3 区間での円滑さを欠く走行やコース上の設置物への接触なども減点の対象となる。選手たちにとってはこれまで以上に繊細なマシンコントロールが要求されるようになった。



DOSS の導入で後追いはよりレベルの高い走りが求められる

追走では、単走とおなじく車速や角度に安定度といった要素が求められる先行車に対し、後追い車はどれだけ合わせつつ接近できるかが求められる。

単走とおなじ要素が評価項目となるため、これまでも先行車両には DOSS で算出された得点がベースとなっていたが、2019 年シリーズからは後追いにも DOSS の得点がベースとして採用され、これに接近度といった項目を審判員が主観で判断した得点を合計し、それが後追い車の総合得点となる方式となった。

後追い車は、車速や角度に安定度といった要素を揃えつつ接近しなければいけないということは変わらないものの、DOSS が採用されたことによってその基準がよりシビアに。角度のないまま接近すると、接近ポイントは与えられるものの、DOSS 得点が低くなって勝てないし、DOSS 得点を狙って相手から離れて自分のドリフトをしても、接近加点が取れないので勝てない、となる仕組みだ。

後追い車の接近ポイント (コースにより 6~12 点) は、先行車との距離に応じてセクターごとに付与される。また、後追い車が先行車から離れすぎて接近ポイントがまったく得られなかった場合はノーグッドチャレンジ (先行者に接近できていない状態) と判断されることがあり、その減点はマイナス 2 点となるため、つねに攻めることも要求されるようになったのだ。

参戦車両

車両：GR86

エンジン：VR38 4100cc 1300hp

タービン：GT75100BB

コンピューター：LINK

ミッション：ALBINS

タイヤ：SHIBATIRE REVIMAX R23 265/35R18(Front)
SHIBATIRE REVIMAX R23 285/35ZR20(Rear)

ホイール：SHIBAHWHEEL 18 インチ off +25(Front)
SHIBAHWHEEL 20 インチ off +12(Rear)

エアロ：SHIBATA

足回り：車高調 JIC ナックル WISEFAB
キャリパー ENDLESS



ドライバー

蕎麦切広大

1996年3月22日生(28歳)

神奈川県出身

身長：165cm

参戦レース：D1GP

2024年D1GP (Rd.7&8 終了時点)

ドライバーズランキング 4位

単走シリーズランキング 2位

実績

2018年9月 ドリフトキングダム Rd.6 チャレンジエキスパートクラス 準優勝 D1LIGHTS 出場権獲得

2019年3月 MSC チャレンジ Rd.2 エキスパートクラス 優勝 FORMULA DRIFT JAPAN 出場権獲得

2019年D1LIGHTS 年間ランキング13位 D1GP 出場権獲得

2020年D1GP ドライバーズランキング18位 単走シリーズランキング13位 シリーズ新人賞受賞

2021年D1GP ドライバーズランキング14位 単走シリーズランキング9位 第7戦 単走優勝

2022年D1GP ドライバーズランキング7位 単走シリーズランキング2位

2023年D1GP ドライバーズランキング5位 単走シリーズランキング2位



No.31 蕎麦切 広大

Rd.7 10/26 天候 曇り雨

今大会のオートポリスラウンドはコースやゾーン位置などは例年と変わらずの設定にだったので去年の走りのデータを参考にすることが出来たので、攻略に集中できました。
その結果 DOSS 点も練習走行では 99 点以上の点数は出てましたのでそのイメージで予選に挑みます。



単走

当日は少し雨降ったりしていたため、練習ではドライ、予選はウェットでしたがまず 1 本目はミスする事もなく走り切る事ができて 92.2 点を獲得しました。1 本目で予選通過は出来る点数だったためもっと攻めて走りましたがやり過ぎてしまい失敗してしまいました。

31 K. SOBAGIRI				REPLAY
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	125.17 km/h
			22.37	92.2
			14.75	
			22.74	
			23.78	
			8.53	
PENALTY				

31 K. SOBAGIRI				RANK 1
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	125.73 km/h
			24.29	85.9
		J2	15.03	
Z3			21.88	
			23.58	
			7.10	
PENALTY				



追走 Best 16 田所義文選手

車の違いが大きい対戦でしたがなんとか走り切ることが出来て勝利する事が出来ました。



追走 Best 8 藤野秀之選手

一本目の先行では自分の走りが出て入れ替えの後追いは進んで思った通りの動きにはなかったのですが、ついて走りきりましたが後追い加点が思ったよりつかなくて敗退しました。



相性のいいコースであるこのオートポリスラウンドでしたが車の感触もかなり合っていていい走り出来る状態でしたが追走では去年のインフィニティと同じ操作だとちょっと合わない所があったので翌日に向けて組み立て直します。今ラウンドも応援して頂きありがとうございました。

No.31 蕎麦切 広大

Rd8 は天気は晴天で路面とドライ路面になります。
練習日の走りを思い出しながら練習をして予選に挑みます

Rd.8 10/27 天候 晴



単走

まずは練習通りの走りをする事が出来て
点数は 98.8 点を獲得することが出来ました。
予選 2 本目。更に攻めて角セクターの足りない
ところを点数を出す事を意識して走りまし
たがその走りをする事が出来て点数は 100
点を出す事が出来ました。

31 K. SOBAGIRI					RANK 1
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	159.63 km/h	
			25.29	98.8	
			14.82		
			24.54		
			24.56		
			9.58		
PENALTY					

31 K. SOBAGIRI					RANK 1
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	159.82 km/h	
			25.52	100.0	
			14.67		
			24.84		
			25.17		
			9.84		
PENALTY					



追走 Best 16 川畑真人選手

1 本目での先行では進入で少しミスが出てしまいジャッチ減点も入ってしまい大きく点差
が開いてしまいました。後追い時では Rd7 の反省を活かした組み立てで走ったら思った
通りに近い状態での追走をする事ができましたが一本目の点差があった為結果は敗退して
しまいました。



31 K. SOBAGIRI					RANK 1
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	159.82 km/h	
			25.52	100.0	
			14.67		
			24.84		
			25.17		
			9.84		
PENALTY					



オートポリスラウンドでは結果こそ良くなかったものの自身にとっても初の 100 が取れたり追走の組み立ても上手く機能したラウンドだった為、来シーズンに繋がるいいラウンドになった
と思いました。次戦はいよいよ最終戦のお台場ラウンドとなります。昨年では悔しい思いしかなかったコースなのでしっかり去年の反省を活かして最終戦はいい走り出来るように頑張
ります。応援して頂きありがとうございました。

参戦車両

車両：GR86
エンジン：2JZ 3400cc 940hp
タービン：HKS GT2
コンピューター：LINK
ミッション：ALBINS
タイヤ：SHIBATIRE REVIMAX R23 265/35R18(Front)
SHIBATIRE REVIMAX R23 285/35ZR19(Rear)
ホイール：SHIBAHWHEEL 18 インチ off +25(Front)
SHIBAHWHEEL 19 インチ off +12(Rear)
エアロ：SHIBATA
足回り：車高調 JIC ナックル WISEFAB
キャリパー ENDLESS



ドライバー

日比野哲也

1974 年 4 月 10 日生 (50 歳)

愛知県出身

身長：181cm

参戦レース：D1GP、Formula Drift Japan

2024 年 D1GP (Rd.7&8 終了時点)
ドライバーズランキング 2 位
単走シリーズランキング 4 位

実績

2018 年 D1CHINA 単走シリーズチャンピオン 追走シリーズチャンピオン

2019 年 DCGP(中国) 単走シリーズチャンピオン 追走シリーズ 2 位

RDS GP(ロシア) 総合シリーズ 3 位

2020 年 D1GP ドライバーズランキング 4 位 単走シリーズランキング 5 位

2021 年 Formula Drift Japan シリーズランキング 3 位

2023 年 D1GP ドライバーズランキング 7 位 単走シリーズランキング 11 位



No.18 日比野哲也

前日練習日】晴れ

ギア比を変更 (3.1⇒3.6) して、去年と同じ4速進入に変更しました。しかし…2本目の練習でミッションが壊れてしまい、練習ができなくなりました。メカニックが、翌日までに直してくれました。

【R7 朝練習】

雨が降っていて、ウェット路面になりました。シバタイヤはウェット路面に強いので、安心して走れました。



単走

単走本番一本目で 90.99 で予選通過が確定して、二本目で攻めました。
しかし失敗してしまい、54.47。
結果は、9 位で予選通過しました。

18 T. HIBINO				DRANK
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	115.54 km/h
			23.05	91.0
			14.47	
			21.47	
			22.83	
			9.17	
PENALTY				

18 T. HIBINO				DRANK
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	122.2 km/h
21			24.58	54.5
			0.00	
			0.00	
			22.57	
			9.32	
PENALTY				



追走 Best 16 岩井照宜選手選手

後追いからスタート。
進入でプッシングしてしまい 93.7:91.3 でアドバンテージ取られました。
先行では、良い走りができました。84.6:97.1。
合計 178.3:188.4 で勝ちました。



追走 Best 8 目桑宏次郎選手

対戦相手、目桑宏次郎選手
後追いからスタートで少し離されてしまい、91.5:100.6。
先行スタートでは、良い走りができて104.3:98.2
合計 195.8:198.8 で勝ちました。



追走 Best 4 松山北斗選手

突然の雨で、心配でした。
先行からスタート、3 ゾーンでコースアウト
89.3:94.8 でアドバンテージ取られました。
後追いでは、良い走りをして 100.2:92.4。
合計 189.5:187.2 で勝ちました。



追走 決勝戦 田中省己選手

先行からスタートで良い走りができましたが、92.2:95.5 でアドバンテージ取られました。
後追いでは、良い追走ができました 99.9:87.2。
合計 192.1:182.7 で勝ちました。



No.18 日比野哲也

【R8 朝練習】

天気が良くなり、ドライ路面になりました。
思った以上に路面のグリップが高い感じがしました。

Rd.7 10/27 天候 晴



単走

単走本番一本目で、ラインが小さくなってしまい 96.80 で失敗。
二本目でもラインが小さくなってしまい、
87.29 で予選落ちしてしまいました。
その代わりに、蕎麦切選手が 100 点満点で
単走優勝してくれました。

18 T. HIBINO				RANK 17
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	146.84 km/h
			25.06	96.8
			14.38	
			23.07	
			24.62	
			9.67	
PENALTY				

18 T. HIBINO				RANK 17
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	148.24 km/h
22	S2		24.76	87.3
23			14.35	
			22.52	
			22.61	
			9.05	
PENALTY				



ドライバーズランキング 2位
単走ランキング 4位
チームシリーズランキング 1位

まだ 2 戦ありますので気を抜かず、シリーズチャンピオン目指して頑張ります。

